



2022年8月12日

各 位

会 社 名 ウェルスナビ株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 柴山 和久
(コード番号：7342 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 廣瀬 学
(TEL. 03-6632-4911)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月14日に公表した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	営業収益	営業利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,681	百万円 —
今回修正予想 (B)	百万円 6,536	百万円 33
増減額 (B-A)	百万円 △145	百万円 —
増減率 (%)	△2.2%	—%
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	百万円 4,647	百万円 △432

2. 修正の理由

当社は、2022年2月14日に公表した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期業績予想におきまして、営業収益の予想のみ開示し、営業利益については広告宣伝費の投下に柔軟性を持たせるため、また予定していたオフィス増床の時期や費用が確定していなかったため、営業利益の予想は非開示と

し、第 2 四半期までの結果をもって判断する方針としておりました。この度、営業利益予想の開示にあわせて、営業収益予想の見直しを実施いたします。

営業収益につきましては、ボラティリティが高く軟調な市場環境が続くことを前提に、1. 運用者の増加ペースや獲得効率の低下、2. 預かり資産の積み上がりの遅れ、を第 3 四半期以降の業績予想に反映いたしました。

営業利益につきましては、中長期的なフリーキャッシュフローの創出力を最大化するため、利益水準よりも、預かり資産及び営業収益の成長を重視し、引き続き人員採用や広告宣伝などへの成長投資を積極的に行う方針に変更はありません。また、第 3 四半期以降の広告宣伝費は、昨年同期からの積極投下と同水準を計画しております。市場環境の影響を受け、運用者の増加ペースや獲得効率は低下していますが、持続的な成長に向けて運用者数を増やすことは重要であり、昨年同期からの投資水準は維持いたします。この方針の下、営業収益を伸ばすことで、成長投資を抑制することなく、自然体での通期黒字転換を見込んでおります。なお、黒字転換が、お客様に安心してサービスの利用を継続して頂くことや、預かり資産の成長にもつながると考えております。

以上の結果、営業収益は 6,536 百万円（前回公表値より 145 百万円減、2.2%減）、営業利益は 33 百万円（前回は非公表）となる見込みです。

※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上